

中西夏之

緩やかに

みつめる

ためにい

つまでも

佇む、装置

Nakanishi Natsuyuki

Devices for

Gentle Gazing and

Endless Linger

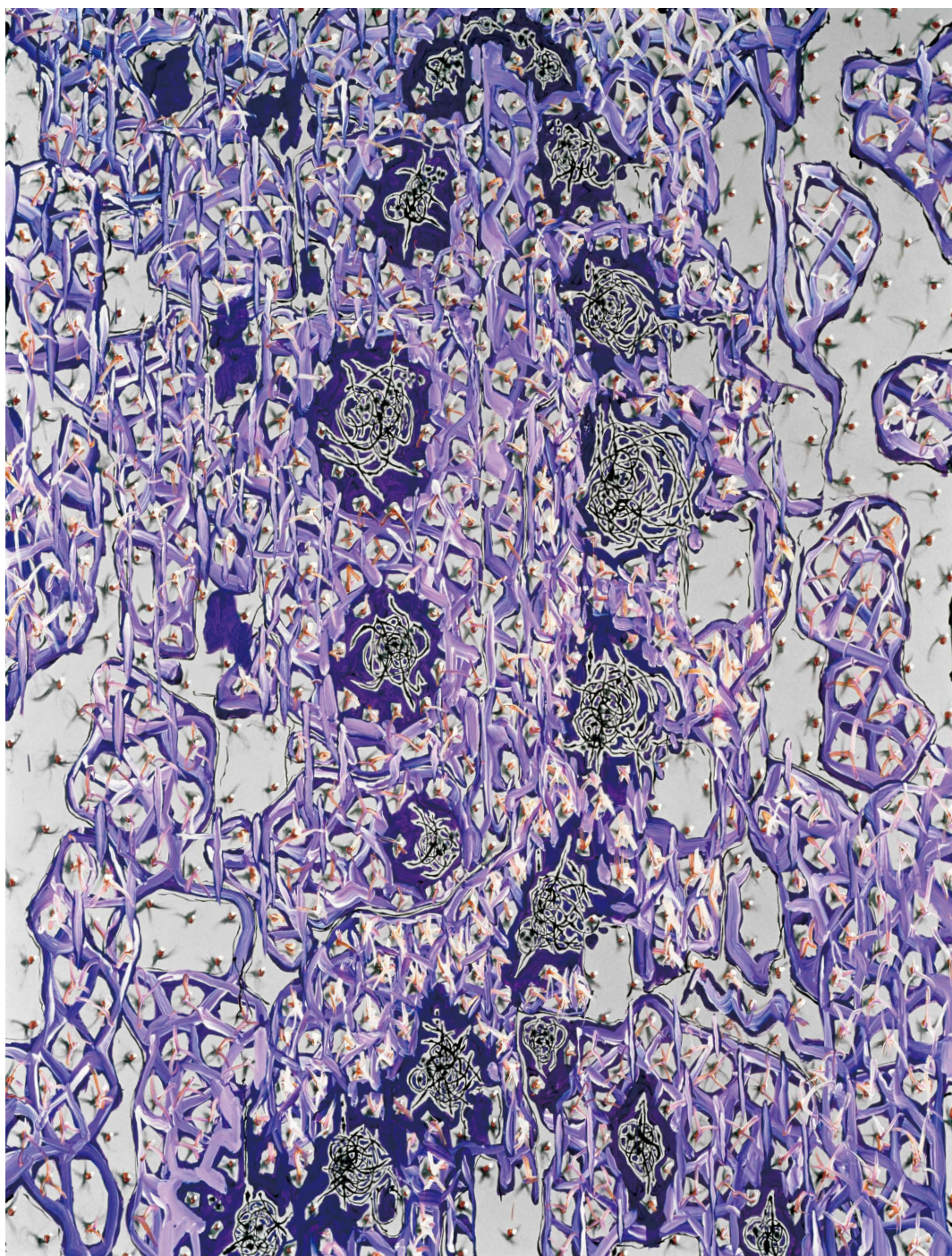
2026年9月5日(土)―11月3日(火・祝)
セゾン現代美術館

開館時間 10時～18時(入館は17時まで・カフェ15時30分まで)

休館日 木曜日

主催 一般財団法人セゾン現代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協力 SCAT THE BATHHOUSE 助成 公益財団法人ポーラ美術振興財団



《作品一たとえば波打ち際に XII》1985年 油彩／画布 セゾン現代美術館蔵 ©NATSUYUKI NAKANISHI

セゾン現代美術館
SEZON MUSEUM OF MODERN ART

中西夏之 緩やかにみつめる ためにいつまでも佇む、装置

Nakanishi Natsuyuki: Devices for Gentle Gazing and Endless Linging

戦後日本を代表する画家、中西夏之(1935-2016)の没後初となる展覧会を開催いたします。中西は、「絵画はいかにして立ち現れるのか」「そもそも絵画の存在する場所はどこか」という問いを突き詰め、具象や抽象といった既存の枠組みにとらわれない作品を生み出し続けました。

本展では、前衛美術家集団「ハイレッド・センター」での活動や、舞踏家・土方巽らとの協働を経て、1960年代後半から再び絵画へと回帰していった中西の半世紀以上にわたる制作の軌跡を振り返ります。1975年に発表され、かつて西武美術館およびセゾン美術館で再生された《砂絵の再生(カーポランダム・ホワイトランダム)》も紹介します。作家の残した指示に基づき、本展にあわせて新たなかたちを現す本作には、中西が問い続けた絵画と身体との関係が息づいています。

中西が残した「緩やかにみつめるためにいつまでも佇む、装置」という言葉が示唆するように、作品と静かに向き合う機会となれば幸いです。

関連企画

●トークイベント

日時：2026年10月3日(土) 14:00-

登壇者：清水哲朗(美術評論家)

南雄介(美術評論家)

定員：30名

●ワークショップ「自分でデザインして、 世界にひとつだけのチケットを作ろう」

日時：2026年10月18日(日) 10:30-12:00頃

対象：小学4〜6年生／定員：10名

講師：福田秀之(東京造形大学 教授)

高須賀活良(東京造形大学 特任准教授)

場所：カフェテラス／参加費：無料

※申込方法・詳細は、8月よりウェブサイトでご案内いたします。

※定員になり次第締め切ります。

入館料

一般：3,300円(3,000円)

学生[中学生・高校生・大学生・大学院生・
専門学校生]：2,200円(2,000円)

※()内は前売料金 ※小学生以下・障がい者手帳をお持ちの方および介助者1名は無料 ※一般・学生料金には、美術館および庭園入館、館内カフェでのドリンク(有機茶・干菓子)が含まれます。※チケットは電子チケットのみとなり、事前日時予約制です(無料対象者も事前の電子チケット取得が必要です)。詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。

セゾン現代美術館
SEZON MUSEUM OF MODERN ART

〒389-0111

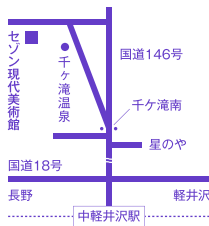
長野県北佐久郡軽井沢町

長倉芹ヶ沢2140

Tel: 0267-46-2020

Fax: 0267-46-2021

https://smma.or.jp



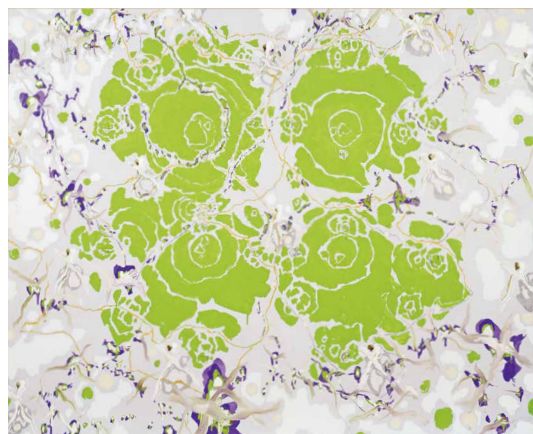
1. 山梨県大月市のアトリエで制作する中西夏之、2002年 撮影：石川裕修 写真提供：愛知県美術館／2.《コンパクト・オブジェ》1962年 国立国際美術館蔵 撮影：福永一夫／3.《Q字型一左右の停止 I》1986年 セゾン現代美術館蔵／4.《R・R・Wー4ツの始まり II》2002年 個人蔵／5.《カーポランダム・ホワイトランダム》1975/1989/2026年 セゾン現代美術館蔵 撮影：後藤充 2-5 ©NATSUYUKI NAKANISHI



1



2



4



3



5